

村の世帯・人口

昭和51年 4 月末日現在

総世帯数 3,157戸

人 口 13,674人

男 6,951人

女 6,723人

4 月の人口移動

出生 24 死亡 2

転入167 転出107

婚姻 7 離婚 3



広報にしはら



—— 私たちの村をきれいにしましょう ——
世界環境デー (6月5日)

発行所
西原村役場

電話(098995) { 5 0 1 1
5 0 1 2
5 0 1 3

印刷
西原印刷

一、村政情報

- ① 昭和五一年度施政方針 1
- ② 昭和五一年度第二回議会定例会終る 2
- ③ 村内の保育所入所式行なわれる 4
- ④ 村青年教室研究発表行なわれる 4

二、村民の広場

- ① 本村老人クラブ、盛況に第四回老人クラブ大会を迎える 6
- ② 西原中学校第十七回卒業式終る 7
- ③ 西原小、坂田小でも昭和五〇年度卒業式行なわれる 8
- ④ おとな顔まけの堂々たる弁論坂田小、児童会役員選挙終る 8
- ⑤ 村立学校の先生方の移動行なわれる 8

三、告知板

- ⑥ 第三回春の花丹展示即売会にきわう 8
- ⑦ 昭和五一年度村出身者高等学校受験者及び合格者数 9
- ⑧ 事業資金の借入れに困っている小企業経営者の方へ 9
- ⑨ 六月の農家のしおり 9
- ⑩ 六月の行事 9

昭和五一年度施政方針

はじめに、ここに昭和五一年三月定例会を迎えるに当り、村政執行に対する所信の一端と施策の大綱を申し述べ、議員各位並びに村民の一層のご理解とご協力をお願いする次第でございます。

さて、四八年末の石油危機は、わが国経済に大きな影響を及ぼし、異常な物価高騰、物資需給の混乱を招来させ、これが克服のために、政府は、総需要抑制策を講じ実体経済面に、物価はやや沈静化の方向にあるとは言え、まだ不安定な状況にあります。



村長 宮平吉太郎

一方、高度成長経済から低成長経済へと移行した経済環境により、不況は長期化にわたって深刻化の様相を見せ、行財政の機能的硬直化はますます悪化し、地方行政をとりまく環境は極めて厳しい状況にあります。

県内の情勢も海洋博後の経済落込み、企業倒産、失業等多くの経済不安がおこり憂慮にたえません。係る悪条件のもとで昭和五一年度の予算を編成するのに苦慮致したわけでありますが、起債等で措置し、収支のバランスをとり緊縮予算となっております。

一般会計予算総額は十二億七百五十五万九千円で対前年度比十五、七%の増となっております。又特別会計予算は、水道事業予算才入総額は

一億一千九十一万七千円で対前年度比四七%の増で、国保会計予算総額一億七千一百二十一万六千円で対前年度比五五、九八%の増となっております。

私は、村政の運営に当っては、對話行政を基調とした住みよい環境づくりや教育施設の充実を重点に諸施策を強力に推進する決意であります。

一、住民福祉の向上

昭和四五年頃を境として、福祉志向転換期に移行し、福祉行政が推進されて参りましたが、地方財政の窮迫にともなう、計画の実現は逐日困難な状況になりつつあるのが現況であります。その中にある、これまで福祉問題は重点施策として推進してきましたが、本年度も重点施策の一つとして推進する所存でございます。

まず、村民の健康を守るため、国民健康保険制度の充実強化を図るとともに、那覇救急診療所の運営費の負担金を予算措置致します。又、村民の健康増進と融和を図るため村民運動会も計画致しております。

次に児童福祉の面では、経済事情や時代の進展に伴い婦人の社会進出が増え、保育に欠ける児童が年々増加する傾向にあり、その児童措置対策として、村立の保育所を二カ所に設置致しましたが、今年小那覇地区に法人の保育所設置の準備が進められておりますので、その計画を推進したいと考えています。その他母子福祉についても、母子栄養強化事業を推進し、母子保健の向上を図りたいと存じます。又、村社会福祉協議会を法人組織化し、村内における福祉事業の強化を図りたいと存じます。

す。

二、生活環境の整備

村民が快適な生活を享受できるように、生活環境の整備を図ることが急務だと考え、これまで年次的に部落道、村道及び排水系統の整備拡充を図るとともに、県道、国道等についても関係機関に要請を重ね逐次整備されつつあり、今後も道路排水行政については、強力に推進する所存でございます。

又、ちり回集については、四九年度から業者に委託し、住民サービスの向上に努めて参りましたが、本年度からその委託料も全額村負担とし、ちり回集業務の強化を図り、きれいな村づくりを進めたいと存じます。

次に、交通安全対策につきましては、特に本村は、都市に隣接し交通量も年々増加し、それに伴う交通事故も多発の傾向にあります。

交通安全対策施設として、幹線道路である国道、県道の重点箇所信号機が設置されておりますので、今後も安全施設の増設促進を関係機関に要請を重ねて参ります。

その他部落、村道等の交通安全対策についても、道路整備と相まって照明灯を設置して参りましたが、本年度も増設し、交通安全防犯に寄与したいと存じます。

三、農業の振興

時代の進展と社会情勢の変化により、農耕地も年々減少の一途をたどり農業への危機感が高まりつつあり誠に憂慮にたえません。

特に沖縄の基幹作目であるサトウキビは、年々栽培も粗放化しておりますが、これは国の農業政策の弱さに起因するものが多く、昨年のきび

価格でもわかるように農家の所得は極めて低く、農家経済はますます窮地に追いこまれ、このことは、生産意欲を減退させ農業の衰退につながるものと考えます。係る農業問題は自治体のみで対処したい難問であります。関係機関と相提携して農業を守り、振興させるべく最大の努力を致す所存でございます。

村と致しまして、古株更新補助金の交付、病害虫の一斉防除を昨年どおり実施し、生産の向上を図るとともに都市近郊農業として、そ菜、花き、園芸等を中心とした経済性が高く市場性のある作目の栽培奨励もしたいと存じます。

又、県野菜価格安定基金協会への出資も予算措置をし農業の振興と生産農家の経営安定を図りたいと存じます。

畜産の振興についても、これまで推進して参りましたが特に養豚団地については、昨年度から関係者とも協議し検討を進めておりますが、畜産振興と畜産公害の立場から強力に推進するとともに、県畜産公社への出資金拠出も予算措置をし、畜産農家の経営安定を図りたいと存じます。

農業生産性の向上については、農業生産基盤の整備の立ち遅れから農家経済への影響も無視し難い実情に鑑み、生産の根底となる農地排水路の整備を早急に行う必要から本年度も積極的に整備事業を行い農業の振興を図ります。

本村の今後の農業振興策につきましては、昭和五〇年度に農業振興地域の指定を受け、基礎資料の作成がほぼ完了し、農業の利用と都市的利

用との相互調整を行い農業の近代化を図る必要な条件を備える農業振興整備計画等を策定し総合的に農業の転換を図りたいと存じます。

四、自然環境の保全と公害防止

自然環境の保全については、開発との調和をどう図るか行政上極めて多くの問題が惹起されておりますが、時代に即応した地域社会を効果的に実現するために充分調査研究をし、行政上の施策を講じたいと存じます。

又、近年、産業活動の進展と多様化に伴い各種公害により、住民の健康や生活環境に悪影響を及ぼす恐れが考えられますので、住民の健康保持と快適な生活環境を保全する立場から公害対策に万全を期す所存でございます。そのために、公害防止協定の締結、行政指導、監視体制を強化致します。

又、特年度、特定企業に公害測定器を設置させましたが、その測定結果を分析し、今後の対策資料に役立てたいと存じます。

五、教育施設の整備

教育諸条件の整備については、これまで優先的に推進して参りましたが、本年度は、坂田小学校の未購入地の買収を年次的に計画すると共に不良鉄筋校舎の改築、児童増に伴う校舎の新築を行い教育環境の整備を図りたいと存じます。

六、戦後処理の解決促進

小那覇、仲伊保、伊保の浜地内の境界設定については、県土地調査事務局が関係地主並びに地主会の協力ののもとに、五〇年度から境界設定作業が着手されスムーズに作業も進行しており、村としても問題の解決が

早期に実現するよう推進したいと存じます。又、未解決の県道及び村道の潰地補償の解決についても関係機関に要請を重ねて参ります。

七、財政の確立

財政問題は基本的には、政府の地方財政計画に起因するわけでございますが、当面の財政硬直化の対応策として、課税客体の把握調査により課税の公平化を期し、税収入の確保を図るとともに納税思想の普及、さらに累積された滞納税の根絶に一層の努力を致します。

又、行政執行面では、人件費の抑制、定数の見直し、冗費節約等行政コストの低減を図るために努力致します。

八、執行体制の確立

時代の進展と人口等の増加に伴い行政需要も多様化し、年々業務も増大の一途をたどっておりますが最近における財政硬直化により、行政運営はますます厳しさを増しております。

係る事態に対応するために、職員の志気の向上、行政システムの見直し、事務の合理化、簡素化等を図り、住民サービスの向上に努めたいと存じます。

以上、昭和五一年度の村政執行の重点施策について申し述べましたが議員各位のご理解とご協力をたまわり、提案致しました諸議案を慎重にご審議いただき、すみやかに決議され、これをもとにして各種の事業が執行され、所期の目的が達成されまじうよう懇願し、ごあいさつと致します。

昭和五一年三月十六日

西原村長 宮平吉太郎

昭和五一年第二回議会定例会終る

— 昭和五一年度一般会計予算成立 —

昭和五一年度の村予算等重要な議案をかかえた第二回議会定例会が去る三月十六日から三〇日まで、延べ七日間にわたって開かれました。

議案は昭和五〇年度予算の補正や昭和五一年度予算等、二二で、その間に村長の施政方針演説、及び一般質問が入り、慎重な審議が行なわれ

ました。それぞれの議案の審議は次に見る通りです。

▲西原村有地（字上原在）の払い下

げに関する請願について

…特別委員会に付託

▲議案第八三号―昭和五〇年度西原村一般会計補正予算について

…原案通り可決

▲議案第八四号―昭和五〇年度西原村水道事業会計補正予算について

…原案通り可決

▲議案第八五号―昭和五〇年度西原村国民健康保険特別会計補正予算について

…原案通り可決

▲村長の施政方針について

…原案通り可決

▲議案第九一号―沖縄市、浦添市、宜野湾市、具志川市、石川市及び中頭郡老人福祉センター運営協議会規約の一部改正について

…原案通り可決

▲議案第九〇号―中頭地方視聴覚協議会規約の一部改正について

…原案通り可決

▲同意第四号―固定資産評価委員の選任同意について

…同意

これで従来までの翁長正昌（村収入役）氏にかわって小橋川正世（資産税課長）氏が固定資産評価委員に決まりました。

▲同意第五号―固定資産評価審査委員の選任同意について

…同意

現評価審査委員の与那嶺英弘氏の任期満了にともなう選任で、同氏が再任されました。任期は三年。

▲議案第九二号―西原村財政調整基金の設置、管理及び運用に関する条例の制定について

…原案通り可決

これで村の財政調整基金として、毎会計年度、一般会計の予算の内で積み立てることになりました。昭和五一年度は三千万円を積立てることになりました。

▲議案第八九号―西原村学校給食共同調理場設置条例の一部改正について

…原案通り可決

▲議案第七六号―西原村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条

例の一部改正について

…原案通り可決

▲議案第七八号―西原村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

…原案通り可決

▲議案第七七号―西原村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

…原案通り可決

▲議案第八〇号―西原村職員等の旅費に関する条例の一部改正について

…原案通り可決

▲議案第八一号―西原村雇傭員給与及び旅費支給条例の廃止について

…原案通り可決

▲議案第八二号―西原村職員定数条例の一部改正について

…原案通り可決

これで幼稚園の教員定数が七人から八人に改正されました。

▲議案第七九号―西原村職員給与に関する条例の一部改正について

…原案通り可決

▲議案第八八号―昭和五一年度西原村国民健康保険特別会計予算について

…原案通り可決

昭和五一年度の本村国民健康保険特別会計の予算は才入、才出とも一億七千一百二十一万六千円となっています。

▲議案第八七号―昭和五一年度西原村水道事業会計予算について

…原案通り可決

昭和五一年度の本村の水道事業会計予算は、収益的収入が一億一百九十一万七千円で、収益的支出は九千九百二十三万一千円となっています。

また資本的収入は一百一十一万一千円で、支出は一千二百四十九万四千円となっています。この場合収入が支出に對して一千一百四十八万三千円の不足となりますが、その不足分は、昭和五〇年度繰越利益剰余金処分額の七百万円と昭和五一年度損益勘定留保資金四百四十八万三千円で補てん

することになっています。

▲昭和五一年度西原村一般会計予算について

…原案通り可決

昭和五一年度の本村の一般会計予算の才入、才出の額は十二億七百萬



定例議会

十五万九千円となっています。

▲私立保育園の給与格差是正に関する陳情について

…財務厚生委員会へ付託

▲電報、電話料金値上げ反対に関する決議について

…決議

▲議案第九三号―村有地の処分について

…原案通り可決

本村字上原二三一番〇二三七番地に至る七筆の原野、畑、宅地が国立琉球大学医学部用地として県土地開発公社（屋良朝苗理事長）に売却することが議決されました。売却された総面積は三万二四二平方メートルで、総額二億五千五百六十八万四千六

百円。

▲議案第九四号―西原村振興開発基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について

：原案通り可決

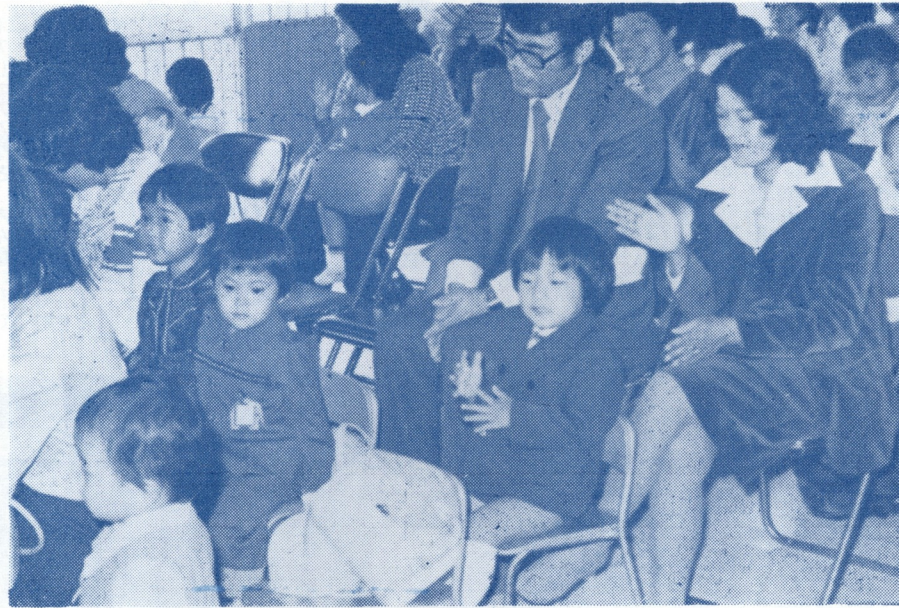
これまでの開発基金の設置限度額
五九万三千三百九〇ドルが、二億六

千八百七十二万二千六百円以内と改められました。これは字上原在の村有地を国立琉球大学医学部に売却したことに伴う条例改正です。

▲議案第九五号―昭和五〇年度西原村一般会計補正予算議決について

：原案通り可決

本村字上原在の村有地を国立琉球大学医学部用地として県土地開発公社に売却した額二億三百八十一万六千円才入、才出に補正されました。これによって昭和五〇年度の才入、才出合計は十四億一千三百九〇万七千円となっています。



～村内の保育所入所式行なわれる～

四月は入学シーズン。村内の保育所でも入所式が去る四月に行なわれました。

村立坂田保育所、西原保育所、私立しらゆり保育所、三カ所の昭和五一年度の入所園児たちは、それぞれ八三人、六〇人、五九人となっています。

入所した子供たちは、今日は父兄にともなわれ神妙な顔をしていました。新しい生活環境になれるまでの一週間は十二時までの保育となっています。子供たちの順応度は大人が比較にならない程高いものがあります。すぐなれてはしゃぎまわる子供たちの姿が見られることでしょう。



村青年教室研究発表

行なわれる

昭和四九年に県教育委員会から青年教室の指定を受け、今年、五〇年度は、その二年目―最終研究発表の年となりました。

本村の青年教室もスタートしてか

ら早くも五回目の卒業生を送り出すに至りました。

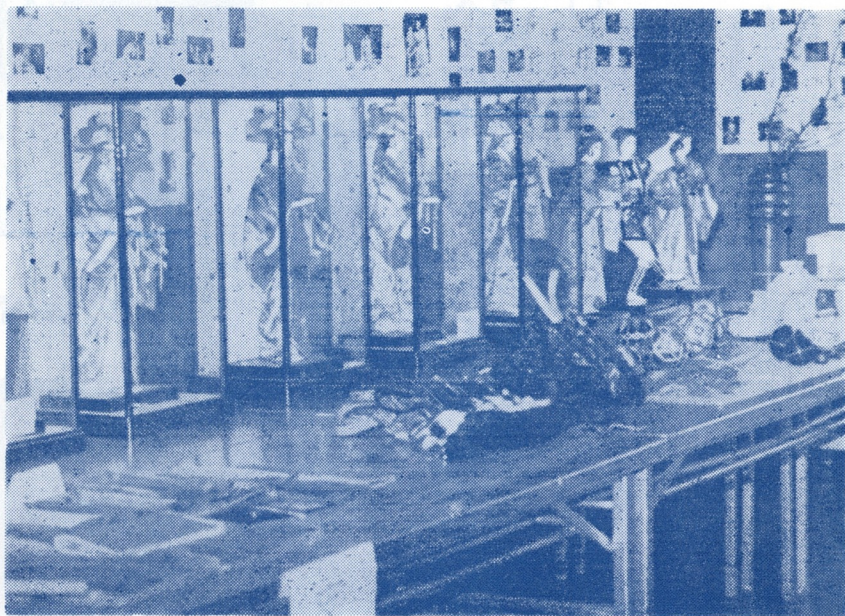
研究発表会は去る三月二八日、村役場ホールで二〇人余の教室生、県及び村の関係者が多数参加して行な

われました。
五〇年度の青年教室は、昨年の八月十八日に開講され、通算三七回、九七時間にわたって別表一に見るプログラムを行なってきました。

発表会当日は、一通りのあいさつのあと、研究発表及び質疑応答が行なわれました。三七回の教室活動、いわゆる各種討論会、実習活動、野外活動等の研究成果が発表されました。

今回の青年教室の研究内容をふりかえってみると、その活動の幅が広がったことがうかがえます。

このことは、今後いろいろな民主活動が活発化して行く上で必ず大きな原動力になるものと思われます。率先してみんなと、みんなの中で力を発揮できる青年たちが育成されて行くことはすばらしいことです。



村青年教室研究発表会

西原村青年教室五〇年学習プログラム

回	月	日	時	学 習 内 容	指 導 者
一	八	・十三	二	希望者の集い	教育委員会
二	八	・十八	二	開 講 式	〃
三	二	・二四	六	野 外 活 動	〃
四	二	・二六	二	〃オリエンテーリング	〃
五	二	・二六	二	これからの青年	宮平正和
六	九	・九	二	青年と人生	城間貞雄
七	二	・十六	二	望ましい人間関係	新垣和子
八	二	・三〇	二	手芸 琉球てまり	大浜 静
九	十	・七	二	〃	〃
十	十	・十四	二	現代社会と青年	平敷りつ子
十一	二	・二九	二	青年と家庭生活	〃
十二	二	・二九	二	親の意見子の意見	〃
十三	二	・二九	二	手芸 琉球人形	宮里 秀子
十四	二	・二九	二	〃	〃
十五	二	・二九	二	青年期の健康	崎浜敏子
十六	二	・二九	二	男女交際	〃
十七	二	・二九	二	結婚の条件	〃
十八	二	・二九	二	結婚と法律	〃
十九	二	・二九	二	身近な法律	新川雅懼
二〇	二	・二九	二	社会生活の規律	〃
二一	二	・二九	二	生 花	〃
二二	二	・二九	二	琉球料理	城間由美子
二三	二	・二九	二	手芸 皮細工	宮里 秀子
二四	二	・二九	二	手芸 打ち合せ	大兼久栄子
二五	二	・二九	二	手芸 皮細工	大兼久栄子
二六	二	・二九	二	宿泊研修	教室長主事
二七	二	・二九	二	〃	〃
二八	二	・二九	二	〃	〃
二九	二	・二九	二	文集作成実習	平敷りつ子
三〇	二	・二九	二	〃	〃

プログラム外活動

- 七月 教室活動（ポスター配布）
- 九月 親睦会 ボーリング大会
- 十月 郡馬県青年と交流会（民泊）
- 十二月 大里村青年交流会
- 一月 グループ研究班別結成
- 一月 新年会
- 二月 文集作成
- 三月 研究発表
- 一月 オリエンテーリング参加
- 十月 富山県青年会交流会

本村老人クラブ盛況に

第四回老人クラブ大会を迎える

その躍動する本村老人クラブが去る三月二十八日、午後二時から村役場ホールで第四回老人クラブ大会を開催。大会には約三〇〇人のクラブ員及び関係者が出席する中で行なわれました。

老人クラブ大会のたびに感心させられるのが、その開会時間の厳守です。キッカリ二時に副会長の金城澄さんの開会の言葉で大会の幕を明けました。玉那覇会長のあいさつのあと優良単位クラブとして独自活動を活発に行ない、その成果が高く評価されている幸地老人クラブが表彰され、また老人クラブへの側面的な協力が多大であるとして村西工全戸小波津健氏に感謝状が贈呈されました。

その後、与座成一中部老連会長、

宮平村長からお祝いの言葉が寄せられ、盛況のうちに大会の幕をじました。

大会終了後たちちに各字単位老人クラブが、この日のために練習した踊りの数々が披露されなごやかに会を楽しました。

なお昭和五十一年度の事業計画及び各単位のクラブ状況は別表一、二の通りです。



第四回 老人クラブ大会

西原村老人クラブ連合会役員名

会 長	玉那覇 馨	小那覇	事務局	石 原 哲	仲伊保
副会長	安座間 喜 盛	徳佐田	監査員	大 城 康 秀	小橋川
〃	金 城 澄	安 室	〃	伊 波 賢 政	棚 原
〃	大 浜 静	兼 久			

昭和51年度西原村老人クラブ連合会事業計画書

月別	村老連事業計画	県、及び中部老連事業参加
四月	老人クラブ本土九州観光旅行 幸地、棚原 上原、小那覇、兼久、仲伊保、小波津、月例会	中部地区老人クラブ レクレーション大会
五月	編物、生花、(造花)の講習会 七単位クラブ月例会	
六月	奉仕作業(西原の塔清そう) 老人学級	
七月	菊花栽培講習会 安室、桃園、池田、月例会	本土研修
八月	各単位クラブ老人スポーツ大会の練習会 老人学級	中部老人指導者会議 幹部研修会
九月	各単位クラブスポーツ練習会 徳佐田、翁長 月例会	中部老人福祉大会 沖縄県レクレーション大会
十月	第二回西原村老人スポーツ大会 我謝、与那城 月例会	
十一月	西原村並老人文化作品展示会 老人学級	
十二月	西原村老人クラブレクレーション大会 奉仕活動	教養講座
一月	新年宴会(希望者)、視察見学 内間、津花波、嘉手苺、掛保久月例会	婦人リーダー研修会
二月	七単位クラブ月例会 料理講習会(老婦)	
三月	総会 役員会 老人学級、一年の反省	教養講座

各単位クラブ別会員数及び月例会クラブ数

単 位 名	会員数	会 長 名	月例会日
幸 地	34名	外 間 光 栄	15日
棚 原	43	伊 波 賢 政	20日
徳 佐 田	13	安座間 喜 盛	
上 原	20	泉 川 寛 栄	10日
翁 長	39	城 間 清 茂	
呉 屋	12	呉 屋 嘉 真	
津 花 波	13	上 里 恵 光	
小 橋 川	16	宮 城 正 勇	
内 間	21	大 城 勝 治	
掛 保 久	5	新 垣 孫 栄	
嘉 手 苅	11	呉 屋 好 信	
小 那 覇	65	中 山 亀 善	25日
仲 伊 保	45	泉 川 寛 仁	30日
兼 久	62	与那城 有 正	11日
我 謝	75	城 間 賀 栄	
与 那 城	16	小橋川 浦	
安 室	22	城 間 栄 吉	
桃 原	15	喜屋武 久太郎	
池 田	20	比屋根 定 知	
小 波 津	35	小波津 武	17日
合 計	582		

(昭和.51.3月現在)

西原中学校第十七回 卒業式終る

毎年三月は卒業シーズンを迎え、進学、就職のシーズンとだき合せてあわただしい活気ある月です。

本村でも村立三学校のトップを切って、西原中学校で、去る三月二十三日、午前九時三〇分から昭和五〇学年度（通算十七回目）の卒業式が父

兄はじめ関係者が多数見守る中で挙行されました。

今年、晴れて卒業する生徒は男生徒一二人、女生徒九七人、計二一八人。その内、九人の生徒はすでに就職の予定がつき、早くも大人の仲間入りすることになっており、他

の二〇九人は高校に進学してもっと勉強したいとの卒業後の抱負状況となっています。

卒業式は一通りの式の後、在学生代表から「学校で学んだことを大切にして、これからも良き先輩として頑張って下さい」との祝辞が送られ卒業生代表もそれに答えて「僕達も頑張ったが、もっとよりよい学園を作るため在校生のみんなが力を合わせて頑張ってください」との抱負を詩人高村光太郎の詩「道程」を引用しつつ力強く後輩に語り「母校に栄光あれ」と楽しかった、想い出にあふれた学窓を同校バンド部がかなでる「今日の日はさようなら」を背中に受けて去って行きました。

見守る父兄や関係者が、かつての「ほたるの光」、「あおげば尊し」でドラマテックに行なわれた卒業式の情景がよみがえり、だぶったイメージの中でシンミリムードだった。

送る在学生、送られる卒業生は明るく、さっぱりし、卒業式も（長い人生の一道程にすぎないとサッパリしたもので飛び交うカミふぶきが、いっそう明るさを象徴しているようでした。

就職して新しい社会に飛び込む生徒、進学する生徒、それぞれの道では非、精一杯頑張った欲しいものです。



西原中学校卒業式

西原小、坂田小でも

昭和五〇年度卒業式

行なわれる

卒業シーズンの最後をかぎり本村の西原、坂田、両小学校で、去る三月二四日、卒業式及び修了式が両校の体育館で挙行されました。

両小学校とも卒業式の回を重ねること三〇回。

当日は両校とも父母、その他関係者が多数見守る中で行なわれました。西原小学校（上原良雄校長）の

場合、今度卒業する児童生徒は全員で一八〇人、男生徒九三人、女生徒八七人となっています。

坂田小学校（知念清校長）の場合、卒業生総数六九人、そのうち、男生徒三九人、女生徒三〇人となっています。

両校合せて約二五〇人の卒業生が中学に進級することになります。中学生となってからも、持ちまえのフットと実直さを失うことなく勉強にクラブ活動に是非、頑張ってもらいましょう。

各立候補者及び推選弁士が、学校生活の現状を分析し、より充実した有意義な生活を送るために、それぞれの観点から児童会のあり方や役員の役割等を堂々たる論陣を張って力強く訴えていました。

その後で投票が行なわれ、九五、八％という大人社会では滅多に見られなくなった高い投票率で選挙が無事終了しました。

投票総数、二七四票、有効票数二七三票、投票率九五、八％、無効票一票のみという数字も、その少なさに立派なものです。

その結果、新児童会役員は次の様に決まりました。
児童会長Ⅱ内間敏康、副会長Ⅱ城間千代、砂川剛、書記Ⅱ新里明子、渡久地治。

新役員の活躍で、坂田小学校が、いつそう明るく、活気にみちた学園になることが期待されます。

頑張れ新役員！

村立学校の先生方の移動行なわれる

卒業式シーズンを終ると先生方の転出、採用等の移動のシーズンとなりますが、四月に行なわれましたその状況を紹介します。

転出される先生方には心から（御苦勞様）と感謝の言葉を……、そして今後本村で頑張られる採用の先生方には「よろしくお願いします」の

言葉を送りたいと思います。

転出の部

現在まで	氏名	職名	これから	職名
西原小	上原良雄	校長	西原小	校長
〃	長田美枝	教諭	〃	教諭
〃	伊集盛市	〃	〃	〃
坂田小	中村義盛	〃	〃	〃
〃	城間照子	〃	〃	〃
〃	比嘉昭粹	〃	〃	〃
西原中	当間慶一	〃	〃	〃
〃	花城可徳	〃	〃	〃
〃	宮平トヨ子	主事	〃	主事

採用の部

これから	氏名	職名	これまで	職名
西原小	新垣清一	校長	西原小	校長
〃	大城朝信	教諭	〃	教諭
〃	大城優子	〃	〃	〃
〃	儀間小夜子	〃	〃	〃
〃	中山トヨ	〃	〃	〃
〃	新垣 静	〃	〃	〃
〃	永山久子	〃	〃	〃
〃	当銘チズ子	〃	〃	〃
坂田小	宮城信子	〃	坂田小	〃
〃	浜川君代	〃	〃	〃
〃	新城文子	〃	〃	〃
〃	与那嶺康生	主事	〃	主事

配置替

これから	氏名	職名	これまで	職名
坂田小	上原克美	教諭	坂田小	教諭
〃	新垣和子	〃	〃	〃
西原中	泉川真佐子	主事	西原中	主事

第3回 春の花弁展示 即売会にぎわう

西原村花卉同好会（小川正元会長）では、去る四月三日から四日かけて村役場前広場で第三回春の花弁展示

即売会を催し、花好きな人々が多数
つめかけにぎわいました。

今回出品された花卉類はランが主
で七〇余点、その他クロトン等が
五〇余点、計一二〇点余が展示即売
されました。

本村の花井同好会のこの種の行事
も村内外に知られるようになり好評
を博し、ほぼ定着した観があり、今
後いつそう盛んになるものと思われ
ます。

咲き誇る色あざやかなランの数々
がすでに沖繩の春を感じさせまし
た。即売の方も上々で会員の顔も春
爛漫といった陽気がただよってい
ました。

はばたけ高校一年生

去る三月に行なわれた昭和五十一年
度の高校受験で本村出身者の受験
及び合格の状況は別表の通りです。
合格した喜びを大切に三十九年の高
校生活を意義多いものにして欲しい
ものです。

高 校 名	受 験 者	合 格 者	合 格 率
西 原	103	82	80%
知 念	24	24	100
沖繩工業(全日)	30	25	83
沖繩工業(定時)	22	18	82
美里工業	1	0	0
那覇工業	3	1	33
普 天 間	3	2	67
南 部 農 林	12	7	58
中 部 農 林	1	0	0
中 部 商 業	11	10	91
中 部 商 業(定時)	2	2	100
首 里	4	2	50
首 里(定時)	3	2	67
真 和 志	1	1	100
沖 縄 水 産	2	2	100
南 部 商 業	11	11	100
合 計	233	189	81

告 知 板

事業資金の借入に 困っている小企業経 営者の方へ

「小企業経営改善資金融資制度を
「担保が少なく、保証人もないた
め、事業資金の借入れができず、経
営の改善をはかりたくても実行でき
ない……」といった小企業者のため
に新しい金融制度が生まれ、昭和四
八年から実施されています。

この金融制度は「小企業経営改善
資金制度」といいます。経営改善を
はかる小企業者のみなさんに必要な
小口の事業資金を、その地区の商工
会等の推せんによって沖繩振興開発
金融公庫から無担保、無保証人で、
しかも低利という有利な条件で融資
し、金融の面から小企業者の経営改
善を効果的にすすめることがこの制
度の目的です。

この制度の融資を受けられる小企
業者は常時雇用者(家族従業員を除
く)が商業、サービス業では二人以
下、製造業その他では五人以下の企
業となっています。

融資される限度額は、一企業あた
り二〇〇万円以下(運転資金は一五
〇万円以下)で、貸出期間は三年以
内(運転資金については二年以内)
の月賦払いです。据置期間は設備資
金についてのみ六カ月で、年利六、
八パーセントです。

その他、融資を受ける資格にいく
つかの資格要件がありますので、融
資を受けたい小企業者の方は、村商
工会の係から詳しい説明を受けて下
さい。

昨年の本村の小企業者の方で、こ
の制度を利用した企業は十八件で、
金額にして二千三百五〇万円となっ
ています。

西原村商工会の会員への貸付限度
額は五〇〇万円です。必要の場合
は、大いにこの制度を小企業者の方

が利用され、経営改善に役立てて欲
しいものです。

本村商工会の事務局は村役場本庁
舎内、産業課の隣りにあります。電
話は五〇一―五〇一三です。

六月の農家のしおり

▲種まき

早出花野菜、夏大根 (みの早生
系、台湾種系) 二十日大根、夏キ
ヤベツ、ふだんそう

▲植付

葉ちしや、にら、かぼちや、い
も、水稻(早植型) ハウス利用夏
野菜栽培

▲手入れと施肥

夏植えさとうきびの畑こしらえ、
春植えさとうきびの追肥、最後の
土寄せ(下旬)

▲病害虫の防除

さとうきび(黒穂病、イワサキク
サゼミ)の防除、みかん(そうか
病、かいよう病、ミカンハモグリ
カ)の防除、野菜類(ハスモンヨ
トウ)の防除、さつまいも(テン
グス病、イモコガ)の防除

六月の行事

四日…菌の衛生週間(～十日)

五日…世界環境デー、環境週間

(～十一日)

六日…婦人の主張大会(村婦人会)

二〇日…父の日

二二日…らいを正しく理解する週間

(～二八日)

二三日…慰霊の日

二八日…貿易記念日

その他の行事予定…奉仕作業(村老
人クラブ)、老人学級開設(村老人
クラブ)、レク研修(村婦人会)、
婦人指導者研修(村婦人会、婦人国
内研修(村婦人会)、家庭バレー
ボール大会(村教育委員会)、ミニバ
スケットボール大会(村スポーツ少
年団)、村農業協同組合総会